

## 山陰近畿自動車道整備推進に関する要望について報告書

令和元年11月19日(火)～20日(水)

### 1・防衛省関連道路事業への要望活動

#### 1、訪問日時

令和元年11月19日(火) 13:15から13:30分

#### 2、訪問先

防衛省 地方協力局 周辺環境整備課長 池田 真人氏

#### 3、目的

京都府が防衛省予算を受けて、京丹後市内において実施している国道・府道の整備事業について、防衛省の積極的な事業支援に対してお礼とともに実施中の事業の早期完成を必要とする予算確保を求めて要望活動を行った。

#### 4、要望書



京丹後市内の道路整備は十分とは言えず、近年、頻発激甚化する自然災害への対応や緊急輸送/避難路として、重要な役割を社会インフラとなっている。さらに、防衛施設へのアクセスの確保も必要であり、早期の整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものであり、現在、京都府において事業中

の下記道路事業は早期に完成するように、必要な予算と更なる支援を要望した。

- (1) 主要地方道浜丹後線(上野平バイパス)
- (2) 主要地方道浜丹後線(宮バイパス)
- (3) 一般府道間人大宮線(丹後弥栄道路・丹後工区)
- (4) 主要地方道網野岩滝線(外村バイパス)

### 2・国土交通省道路局への要望活動

#### 1、訪問日時

令和元年11月19日(火) 14:00～17:00

#### 2、訪問先

14:00から15:30まで、国会議員 参議院二之湯議員をはじめ、

本田太郎衆議院をはじめ京都府選出議員への要望活動を行う。

その後、国土交通省へ移動し、16:00～17:00まで要望活動を行う。

- 15:30 国土交通大臣 赤羽一嘉氏、 副大臣 青木一彦氏
- ・国土交通省政務官 和田政宗氏 ・国土省大臣官房長 野村正志氏
  - ・国土交通技監 山田邦博氏 ・国土省道路局次長 長橋和久氏
  - ・同 上審議官 由木文彦氏 ・同 上企画課長 丹羽克彦氏
  - ・同 上国道・技術課長 奥村康博氏などに要望活動を行った。

### 3、目的

山陰近畿自動車道について、大宮峰山間の早期開通及びミッシングリンク区間の早期整備を求め、国会議員及び国土交通省への要望活動を実施した。

#### 要望活動の内容

山陰近畿自動車道整備推進に向けた京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟を立上げ、会長に金田議員を選出し、今回は14名の議員で構成し、日本海側唯一の高速道路の空白地帯となっているため、道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市の将来の発展に最も重要な課題となる。

山陰近畿自動車道は日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路として、近年発生している豪雨災害や大型化する台風などの災害において、道路ネットワークの確立、防災体制の強化の観点からも山陰近畿道自動車道の更なる推進と緊急輸送道路の整備が急がれるなかで、

- 1・大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2・大宮峰山ICから網野ICまでの早期事業化を国に対し働きかけられたい。
- 3・兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に向けた本調査を実施されたい。

とする、要望書を関係機関に手交し要望活動を行ってきた。



### 4・所見

今回の要望活動は、初めて国土交通省道路局長をはじめとする関係機関に対し、短時間ではあったが京丹後市議会の山陰近畿道建設促進議員連盟とし



て要望活動を行うことができた。

このことは、私たちの切実な声として直接関係機関に訴えることができたし、各機関の責任者からも「早期実現に向けて支援」していきたいとの回答もいただくことができ、特に各国會議員からも力強く「早期実現にむけて取組む」と述べられ、有意義な要望活動が行うことができたと考えます。

### 3・山陰近畿自動車道整備推進決起大会

1・日時 平成30年11月20日(水) 9:30~10:30

2・会場 〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1  
ホテルニューオータニ 鳳凰東中の間

#### 3・参加者

- ・ 山陰近畿自動車道整備促進協議会  
西脇京都府知事、井戸兵庫県知事、平井鳥取県知事
- ・ 山陰近畿自動車道整備促進国会議員連盟  
石破衆議院議員、谷衆議院議員、田中衆議院議員、本田衆議院議員、などの関係する国会議員委員。
- ・ 国土交通省  
池田豊人交通局長をはじめ関係職員
- ・ 沿線市長  
中貝豊岡市長をはじめ関係市長
- ・ 山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会  
京都府議会 森口議員をはじめとする各県議員
- ・ 沿線の市町から、各商工会や各観光協会、建設業界などをはじめとした団体
- ・ 京丹後市からは  
京丹後市長、京丹後市議会議長、京丹後市議会議員連盟(15名)、協議会関係の、京丹後商工会・京都府北部地域連携部京丹後本部・京丹後建設業協会・京丹後市建設業協栄会・京都府漁業協同組合、協力団体として、東京丹後人会、東京久美浜人) 商工関係団体など京都府から多数の参加者があり、それ以外に沿線関係市町村からも多数参加されていた。

#### 4・大会概要

- ◇ 大会は、谷公一衆議院議員の司会で始まった。



- ◇ 主催者挨拶で石破衆議院議員からは  
日本の人口減少のところからやる。東京が一番危険な都市と保険会社は  
言っている。いかにして地方に雇用をもたらすために、山陰近畿自動車  
道を通すことは日本を変えることになる。
- ◇ 来賓として、青木副大臣からは、災害、緊急時の代替えとして、山陰  
近畿道は必要だ。120キロ中、残り5割だ、引き続き力強く協力し  
ていく。その後、国会議員の紹介がなされた。
- ◇ 三県の知事から
  - ★ 鳥取豊岡宮津自動車整備推進協議会
  - ★ 但馬・地域高規格道路推進協議会
  - ★ 丹後・地域高規格道路推進協議会の三協議会から要望書を国会議  
員に手交された。

● 地元関係者のあいさつ

◇ 西脇京都府知事

全国で残されたミッシングリンクであり、災害・緊急医療、地域の  
観光圏を支えるものだ、京都は25%にとどまっている12月21日  
は大宮峰山間で工事の起工式が行われる。大宮峰山間は南北に繋がり  
北部振興が図られる。網野豊岡間の事業化・ルートの決定されるよう  
3府県が努力する。

◇ 三崎市長



京都縦貫道路が大宮まで開通し森本工  
業団地の九割が埋まる成果が出ている。  
六割が未完成であり早期実現の声を届  
けたい。災害時の防災道路として生活の  
道として住民の命を守道だ、早地元の希  
望ルートも確保した、一日も早い実現に  
むけ頑張る。

- ◇ 地元関係者から (株) 日本インパクト 金志代表取締役から、  
乾物や切干など伝統的な食べ物を京都から全国に直送している。森本  
工業団地に本拠地として新鮮なものを加工品いきたい。山陰近畿自動  
車道の延伸でアクセスも良くなったことが原因だ。早期実現をお願い  
したい。



京都縦貫道路が全線開通し、京阪神地域への移動の時間が大幅に短縮され、貨物運送業として、京阪神への物流の流れも大きく時間も短縮されている。改めて高速道路ネットワークの恩恵を実感できる。

山陰近畿自動車道能力全長約120km、平成30年までに供用された区間は44.0km、現在事業中区間大宮峰山間含めて16.4km、調査着手区間（峰山・網野含め）40km、未着手区間（網野・久美浜間）19kmの状況である。

令和元年12月21日には、大宮峰山間の工事に向けた起工式が開催される。仮称網野ICまでの予算を前倒して調査が行われることや、網野から豊岡までの道路に向けて地元住民へのアンケート調査が実施され、希望ルートとの見通しをつけていくとも言われている中で、しっかりと予算化し道筋を示していただきたいと思う。

山陰近畿自動車道整備推進決起大会は、地元国会議員や関連国会議員など多くの議員が「早期実現にむけて頑張る。しっかり支援していきたい」と挨拶された。地元市民の熱意をしっかりと受け止めていただき、「早期に全線開通に向け頑張る」と挨拶では言われているが、口先で終わらないように国会議員には頑張ってもらいたい、私たちもしっかりと陳情要望活動に頑張っていきたい。

